

鳥取大学医学部創立七五周年記念事業 募金趣意書

平素より、鳥取大学医学部の活動に、温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。医学部は一九四五年に設立された米子医学専門学校を前身とし、一九四八年に米子医科大学、一九四九年に鳥取大学医学部となり、今日まで発展してまいりました。現在は国立大学法人として教育、研究、診療、地域貢献活動を進めておりますが、二〇二〇年に創立七五周年を迎えました。ところが、二〇二〇年は新型コロナウイルスの世界的大流行のため、あらゆる行事が延期・中止となり、あらためて申し上げるまでもなく、鳥取大学医学部創立七五周年記念事業も延期をせざるを得ませんでした。しかしながら、大きな慶事である七五周年記念事業は鳥取大学医学部の将来の基盤づくりに欠かせないと考え、一年遅れですが、この度医学部、附属病院、同窓会が一体になって、今後の鳥取大学医学部の発展に資する記念事業を行うことになりました。

創立七五周年記念事業を行うにあたり、スローガンを「継往開来、未来に継ぐ」と定め、先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開くことを大きな柱に据えています。記念事業につきましては、コロナ禍で大きな影響を受けた教育、学生生活を少しでもサポートできるようにしたいと考えています。具体的には、老朽化したサークル棟の改修を本学事業と協力して行うこと、オンライン教育やアクティブラーニング、実習を行いやすくするための講義室を整備することを計画しております。また、今回の大きな節目にあたりましては、鳥取大学医学部内に記念事業会を設立して、記念誌の発行、記念式典、記念講演会の開催計画を立案しています。これらの記念事業全体を計画通り行うため、皆様に総額で五〇〇〇万円ほどの募金をお願いしたいと存じます。

関係各位におかれましては、コロナ禍で大変な時期に誠に恐縮ではあります。が、鳥取大学医学部の将来に係わるこれら一連の事業の重要性に對しまして、格別のご理解を賜り、ご寄付をお願いできれば幸甚に存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

二〇二一年四月吉日

鳥取大学医学部長	中村廣繁
鳥取大学医学部附属病院長	原田 省
鳥取大学医学部同窓会長	魚谷 純